

台原地区社協だより

第 26 号

令和 5 年10月1日発行

台原地区社会福祉協議会

発行責任者

台原地区社協だより
編集委員会

ご 挨 拶

台原地区社会福祉協議会 会 長 村 上 一 彦

日頃より台原地区社協活動にご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。

令和 4 年度より会長を拝命しましたが、コロナ禍真っ只中のため各種事業が通常通り開催できずお詫び申し上げます。

本年度にコロナが 5 類に移行されたとはいえ、高齢者の皆様にはまだまだ慎重を期するため役員の方々と話し合いながら開催を決めて参ります。

一方では、独居高齢者のいろいろな課題や引きこもりの問題等が山積しておりますので情報を正確に把握して何が必要なのか見極めながら活動してまいります。

台原地区の皆様が安全で安心して暮らせる環境づくりに社会福祉協議会としての役割をしっかりと果たせるよう役員一同頑張っておりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

新会長として

台原地区民生委員児童委員協議会 会 長 桜 井 和兵衛

台原地区民生委員児童委員協議会（台原地区民児協）では、令和 4 年12月の一斉改選により、今まで15年にわたり台原地区民児協の代表として、牽引して頂いた会長が退任され、私が後任会長を拝命いたしました。

私はこれまで、どちらかという上杉地区寄りの地域を担当しており、実際のところ台原地区全体の実情を完全に把握しきれていない状態で会長になり、当初は慣れないせいか、会長職の業務に追われ、台原地区全体の状況を把握する余裕もありませんでした。しかし、役員以下、委員の皆様にご助けられ、何とか今日まで乗り越えることができました。委員の皆様には、感謝の言葉しかありません。

ところで、地区民児協は、地域住民の方々の生活を支える重要な組織です。

近年、少子高齢化の進行や、生活様式の多様化などにより、地域における課題は、複雑化、多様化してきております。その中で、お一人暮らしの高齢者、高齢夫婦、高齢世帯の方々の見守り、そして子供達への物騒な事件に対して、学校ボランティア防犯巡視委員に、委員全員が登録し登下校の見守り、さらに、地域の活性化として、ふらっとカフェ、お茶っこサロン、子育てサロン等の各種サロンの実施など台原地区民児協23名の委員、さらに関連機関の皆様と協力して、今まで以上に良くなっていきたいと思っていますので、地域住民の皆様のご理解と、さらなるご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



地域包括センターは地域の高齢者の相談窓口です

地域包括センターは、地域に暮らす皆様が高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように設置された相談窓口です。仙台市内では52か所に設置されており、台原地域包括センターは台原中学校区域を担当しています。

当センターは、生活の安定のために必要な介護・福祉・健康・医療など、様々な援助を包括的に活用できるように支援するため、以下のような役割を持っています。

- ① 高齢者に関する総合的な相談ごとを承ります。
- ② 介護予防サービス利用等の相談・調整役となります。
- ③ 判断能力や立場の弱い高齢者の権利を守る支援をします。
- ④ フレイル（虚弱）状態を予防する健康づくりの取組みを支援します。
- ⑤ 地域の方々同士が互いに支え合う地域づくりを支援します。

特に近年ではコロナ禍の影響のためか、介護保険の利用に関するご相談が増えています。また、閉じこもりがちな方や認知症の疑いがある方など、周囲の方から見て心配のある方についてのご相談も目立ってきました。

また、当センターでは、サービス利用のための支援計画づくりや介護予防のための健康づくり、地域の方々との連携による見守り体制づくりなど、ご相談の内容に応じて専門的な資格を持つ職員が対応いたします。ご自身のことや身近な方で気掛かりなことがありましたら、当センターまでご相談ください。

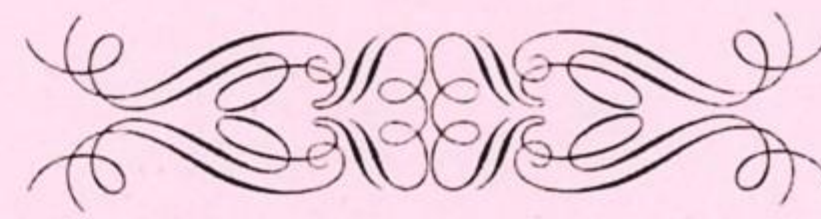
ご相談の連絡先 台原地域包括支援センター（台原老人福祉センター 1 階）

電話 022-727-5360

（相談受付期間は、土日・祝日・年末年始を除く 8 時30分～17時00分です。）



子供たちの居場所となるように



台原児童館 館長 後藤 芳浩

台原児童館は、平成15年 4 月に台原小学校区内に単独館として仙台市が設置し、「公益財団法人仙台ひと・まち交流財団」が管理運営を行っている児童福祉施設です。対象は 0 歳から18歳未満の児童で、健全な遊びを提供しその健康を増進し情操を豊かにすることを目的とした施設でもあります。木造建築で温かみのある造りとなっていて今年で開設20年目を迎えました。

当児童館は 4 つの事業を推進しています。1 つ目が児童健全育成事業で、児童がスライムやプラバン作り、こま遊びやけん玉等の様々な遊びに取り組んでいて、他の児童館とも運動遊びの交流を図っています。2 つ目は子育て家庭支援事業で、乳幼児親子対象（0 歳児、1 歳児、2 ～ 3 歳児）の行事に取り組み、保健師や栄養士等の専門家を招いて育児相談も実施しています。3 つ目は地域交流推進事業で、台原地区主任児童委員さんのご協力による子育てサロンの実施、子育て支援クラブの方には環境整備や行事の支援をいただいています。4 つ目は放課後児童健全育成事業で、放課後や土曜日に家庭に保護者がいない小学生を受け入れ適切な遊びや生活の場を提供しています。

今後も台原地区の社会福祉協議会をはじめ各団体のご協力を賜りながら、当児童館が子供たちの居場所となるように館運営を推進してまいります。



児童福祉事業のさらなる推進を！ ～子どもたちの健やかな成長を願って～

台原地区民生委員児童委員協議会 副会長 主任児童委員
台原子育て支援クラブ 副会長 遠 藤 みち子

一般に「民生委員」というと、高齢の方々の見守りやサロン活動の推進に関わっているようなイメージがありますが、「民生委員」は同時に「児童委員」も兼ねており、児童福祉の推進にも大きな役割を担っています。数年前、仙台市民生委員児童委員協議会において、「児童委員活動の強化対策」について方向性が決まり、台原地区民児協でも児童福祉に力を入れ、様々な活動を進めてまいりました。その活動の中心となっているのが、主任児童委員です。主任児童委員は、「児童委員」活動の一層の推進を図るために設置されているもので、児童福祉にかかわる事項を専門的に担当しています。各地区において1～2名の主任児童委員がおり、台原地区民児協では2名の主任児童委員が活動しています。

ここ3年にわたるコロナ禍の中、なかなか思うような動きはできませんでしたが、主に児童館を拠点として、地道に活動を進めてきました。主任児童委員としては、月に一度、子育てサロンを開催、仙台市の地域子育て支援事業と連携し、保育士の方に来ていただき、子育て相談会を行っています。コロナ禍において、子育て世代が、感染対策という壁に阻まれて、否応無しに孤立を深める中、少しでも保護者の助けになるきっかけを作ればと願い、子育てサロンを続けてきました。児童館に遊びに来た親子がふらりと立ち寄れる、予約なしの気軽に気楽な相談会は、プロの保育士の方と雑談を交えて話すことで、保護者の気持ちが少しでも楽になったり、その後の支援事業につながったりすることが多く、よい効果を生み出しているように感じています。また、民生委員の有志や民生委員OB、地域の方とともに「台原子育て支援クラブ」を立ち上げて、児童館事業への連携ができたことは、さらなる一歩となりました。子育て支援クラブの具体的な活動としては、コロナ禍の中でもできることを、と考え、児童館の花壇づくりや草取りなどの環境整備、児童館行事の手伝いなどを継続して行いました。コロナが落ち着いてきた今年の1月には「新年お茶会」を数年ぶりに行うことができ、その際、台原地区社会福祉協議会から寄付金をいただき、充実した活動となりました。台原地区社協会長より、「今後はさらに児童福祉に力を入れていきたい」とのお言葉をいただき、会長自らもお茶会にご参加くださいました。この場をお借りし、感謝申し上げます。さらに、この夏、主任児童委員、子育て支援クラブ、児童館の共催で開催した「ブックトーク」の事業に対しても、台原地区社協より支援金をいただきました。今後も、各団体の連携をさらに広げ、深めながら、児童福祉にかかる事業を推進し、子どもたちの健やかな成長を、地域をあげて応援、見守っていかれると思います。

皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



コロナ禍における福祉委員活動

福祉活動推進員 高 橋 洋 子

コロナが世の中に蔓延してから早いもので4年目となります。自由に外に出ることもできず、家の中で我慢して過ごす日々が長く続いてきました。また毎日メディアから発信される感染状況に怯える日々であり、皆さんもそれぞれ御苦労があったかと存じます。

私たち福祉委員として、高齢の方々の集いの場で、安否確認の場でもありましたサロン活動も休止せざるを得ない状況にありました。しかし、ようやく国の制限も緩和され、少しずつではありますがサロン活動も再開し、地域の皆さんとの談話や体操、物作り等の活動を楽しめるようになってきています。

コロナ禍においては、様々な活動が制限されている中、各地域の福祉委員は、地域の方々の安否確認活動を行ったり、ゴミ出しや買い物、草刈り、電球の交換等の家回りの手伝いをしている方もいらっしゃいました。またコロナ禍以前より、近年子供会がなくなる町内会も増えております。福祉委員は、子供達の安全を見守る活動も行っております。

福祉委員は、いつも地域の皆さんの身近に居て、見守る存在であり、今後より一層そのような存在でありたいと思います。しかし残念ながら、いまだに福祉委員が居ない地域（町内会）が多く存在しているのが現状です。地域の安全・安心の維持のため、福祉委員への参加・ご協力をいただきたく何卒宜しくお願い申し上げます。

社会を明るくする運動(社明) 台原地区推進委員会

委員長 小 柳 あや子

- 青葉区社明街頭活動（ティッシュ配布）一番町
- 台原小学校、中学校に社会を明るくする運動のポスターの制作依頼
- 青葉区民まつりにて社明ブースの展示 ホゴちゃんサラちゃんの着ぐるみで活動
- 台原小学校（650個）台原中学校（650個）にポケットティッシュの配布
- 台原中学校地区青少年健全育成連絡協議会の清掃活動に参加などの活動を行っています。



台原生協に展示 ポスター展示に合わせ来店者に社明のポケットティッシュの配布

会員は台原小学校、中学校の校長先生、父母教師会会長、地区各団体の長14名で会を運営しています。

台原東部連合町内会集会以ふらっとカフェ

台原東部連合町内会 会長 鈴木 茂

台原東部連合町内会ふらっとカフェは、地域の皆さんの交流の場です。台原東部連合町内会は5町内会（玉出町内会・東部町内会・台原五丁目町内会・平林町内会・台原親睦町内会）で運営しております。

平成29年6月に第1回の開店以来続けておりましたが、令和2年にコロナ禍で休業していました。令和5年5月から感染予防対策に気をつけながら再開致しました。

一緒にゆったりと過ごしながら認知症への理解を深め、住みやすい優しい街づくりをすすめています。スタッフ一同、また多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加費は無料です。

主 催 台原東部連合町内会

スタッフ 町内会長・民生委員・福祉委員・台原明寿会・有志の方

協力機関 台原地域包括支援センター 電話 022-727-5360

花京院地域包括支援センター 電話 022-716-5390



令和5年7月22日撮影
花京院包括・粕川所長による
軽運動



令和5年5月20日撮影
小松島交番・伊藤所長による
特殊詐欺予防講話



令和5年5月20日撮影
会場の台原東部連合町内会
集会所



令和5年4月22日撮影
パナソニック補聴器社員による
耳の聞こえの講話

令和4年度 会費・協力金 ご協力ありがとうございました。

社会福祉協議会費
(台原地区社協扱い分)

3,064 件
992,300 円

赤い羽根共同募金
(台原地区募金会扱い分)

1,604 件
842,574 円

ご賛同頂きました会費・協力金は、それぞれの機関に納入いたしました。
ご支援心より感謝申し上げます。

編集後記

新型コロナウイルスも第5類になって
もまだまだ感染者は発生しております。
台原地区の皆様の安全・安心な日常生活
が送られるようお願いいたします。

会報発行にあたり御協力いただきました
皆様、誠にありがとうございます。

(鈴木)